

一宮町長
馬淵 昌也

去る10月26日に、GSSセンターを舞台に、芸能音楽祭が開催されました。今年は、横と縦のつながりを拡大して、近年にない成功を収める結果となりました。観客のひとりとして会場でそれを実感して、大変嬉しく存じました。

まず、横のつながりの拡大ですが、今年は、長生特別支援学校の方々が参加され、「長養太鼓」を披露されました。大変力強い和太鼓の演奏で、ポーズも見事に決めて、すばらしいパフォーマンスでした。しかも、二曲目は一宮商業高校の生徒さんも加わっての合同演奏で、そのすばらしいコラボに、深い感動を覚えました。

また、今年は、一宮中学校の生徒さんが、やまゆり祭の合唱コンクールでの合唱曲を引っ提げて授業の一環として参加してくれました。これも大きな横への広がりです。従来、中学校の吹奏楽部の皆さんは演奏で参加していたでしたが、それ以外の皆さんは、お越しになる方は少数でした。今年は、全員が参加して合唱を披露してくださいました。それがまず嬉しいことでした。そのうえ、次々に登壇されるシニアの皆さんの各種演技に、心からの拍手や喝采を送ってください、大いに会

場を盛り上げていただいたことも、大変頼もしく感じた次第です。

縦のつながりの拡大としては、例年出演者も観客もシニア層に傾いていましたが、中学生の諸君が大勢来てくださったことが、まず画期的な拡大でした。さらには、中学生の皆さんのご家族もお見えになられ、年齢も性別も文字どおり多様な方々に大集合していただくことになりました。こうして、大変賑わしい芸能音楽祭となりましたが、今回の拡大は教育長のアイディアから始まったもので、すばらしい展開であったと思います。

しかし、社会教育係のスタッフに聞いてみると、近年、芸能音楽祭には、従来の常連チームの皆さんが高齢化で次第に出演が難しくなってきたので、今後は新規の方々にも参加を促してゆかなくてはならないとのことでした。

町には伝統芸能からポップス、各種ダンスなど、一芸をお持ちの方が、まだまだ大勢いらっしゃると思います。これまでご出演いただいていない方々も、是非とも芸能音楽祭で技をご披露いただき、多くの町民を楽しませていただければ、と切に願います。